

第10章 愛知県総合教育センター

第1節 事業方針

1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会との連携のもとに、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。また、当センターにおける教育研究調査事業の位置付けを明確にして、実態調査・課題把握、研究実践、成果の還元という見通しをもって研究を進める。

2 教育関係職員研修

教育関係職員としての自覚を深め、教育の理念に基づき、意識改革及び資質能力の向上を図るとともに、教育指導に関する基礎的、専門的知識・技能の充実や指導力の向上を目指して、教育実践の場に直結した研修を実施する。

3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料の貸出し等を行う。

5 生徒実習

農業教育（農業教育共同実習所）

県内の高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を習得させ、実践力を高めるため、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

第2節 事業概要

1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- (1) 学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- (2) 研究と研修との連携を一層図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- (3) 研究成果の発信と学校現場への普及・活用を図る。（研究発表会、研究紀要、ホームページ、研修講座等）

平成 25 年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	教師を育てる教師の育成と研修の在り方に関する研究	センター・大学共同研究委員会での「教師教育学」に関する協議に基づき、今日的教育課題となっている教師を育てる教師（研究主任、研修主任、教務主任等）の力量向上のための研修の在り方について、研修プログラムの開発や具体的な指導内容・方法を研究する。	共同研究 （協力校・大学連携）
	2	高等学校における道徳教育の推進の在り方に関する研究	今次学習指導要領では、「道徳教育の充実」が大きな柱となっている。教育課程に道徳の時間が位置付けられていない高等学校においても、道徳教育の全体計画の下、全教師が協力して道徳教育を推進することが求められている。そこで、高等学校における道徳教育の推進の在り方を、実践を通して研究する。	共同研究 （協力委員）
	3	児童生徒の情報モラルの指導法に関する調査研究	情報モラルの向上について児童生徒、保護者をはじめ、広く県民に対しての啓発活動を通じて、家庭・地域・学校の協働による総合的な情報モラル向上を図り、児童生徒の安全を図る。	共同研究 （協力委員）
	4	学校における児童生徒の事故への事後対応に関する研究	児童生徒の事故への事後対応の調査の方法及び内容について、検討・研究を行い、その成果を学校運営に役立てる。県教育委員会健康学習課と連携して研究を推進する。	所内研究 （本庁連携）
	5	愛知県における児童生徒の実態及び指導に関する調査研究	当センターでは、5年に一度、愛知県における児童・生徒の生活の実態に関する基礎的な調査及びその結果を基にした指導の在り方の研究を行っている。平成25年度から研究グループを立ち上げ、平成27年度には成果を報告する。なお、平成27年度は、アクションプランⅡの最終年度にも当たり、その成果検討にも活用する予定である。	所内研究
	6	不登校・不登校傾向の児童生徒に対する教育支援の在り方に関する研究	発達障害あるいは発達障害が考えられる児童生徒が不登校に陥らないための予防的な支援策及び不登校状態からの復帰に効果的な支援策を研究する。その際、聞き取り調査や質問紙による調査から得られた事例を分析し、具体的な支援の方法について検証し、提示する。	共同研究 （協力委員）
	7	特別支援学校（知的障害）における自立活動の充実に関する研究	特別支援学校（知的障害）の自立活動の授業において、学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善が重要な課題となっている。そこで、ICF（国際生活機能分類）の理念を踏まえた指導計画の作成と授業実践を通して、特別支援学校（知的障害）における自立活動の在り方について研究し、成果をまとめる。	共同研究 （協力委員）
教科等の指導の充実	8	高等学校新入学生徒の学力に関する研究（国語）（数学）（英語）	全県的な規模で高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 （協力委員）
	9	教科指導の充実に関する研究（国語）（地歴・公民）（数学）（理科）（理科CST）（英語）（技術・家庭）（情報）	高等学校の教科指導の現状把握と指導上の課題等について調査研究するとともに、小中高等学校の児童生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等についても研究する。	共同研究 （協力委員）
	10	産業教育の充実に関する研究（農業・水産）（工業・商業）（家庭・看護・福祉）	産業教育に関して、生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。また、産業教育の活性化に向けた方策等について協議し、学校における産業教育の充実を図る。	共同研究 （協力委員）
	11	情報教育の充実に関する研究（インターネットの教育利用に関する調査研究：参加・交流、校内LAN）	参加・交流学习に関する調査研究、及び校内ネットワークの有効活用や運営に関する調査研究を進め、愛知エースネット等を通して発信し、教育活動全般における情報化の推進に資する。	共同研究 （協力委員）
		（ICT授業活用に関する研究）	ICT機器を活用して授業の充実を図るための研究を行い、研究成果を研修講座等で提示することにより、各学校にICT活用を広める。	共同研究 （協力委員）
12	特別支援教育の充実に関する研究	特別支援教育に関する部門の実践に役立つ教育情報を収集・作成する。	所内研究	

2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成25年度に実施した研修は、次のとおりである。

ア 研修区分・対象校種別講座（コース）数

対象校種別		幼 保	小	中	高	特	小 特	中 特	高 特	小 中	幼 小 中	小 中 高	中 高 特	幼 小 中 高	幼 小 中 高	小 中 高 特	幼 小 中 高 特	小 中 高 特 他	合 計
基本研修	新規採用 教員研修	1	1	1	1	1			1							2			8
	教職経験者 研修	1	2	2	3	3										2			13
職務研修		1		1	2	2			7	5			1						19
課題研修		1	1						2		1					2	1		8
専門研修		1	2	2	8	1	5	1	5	2		2	1		1	7	25		63
長期研修					2	1				1		3				3		1	11
合計		5	6	6	16	8	5	1	15	8	1	6	1		1	16	26	1	122

イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合 計
研修人員	教員等	444	2,229	1,245	2,200	785	52	6,955
	学校事務 職員等		284		101		0	385
	計	444	3,758		3,086		52	7,340
研修延人員	教員等	1,269	8,352	4,869	7,095	2,522	119	24,226
	学校事務 職員等		881		107		0	988
	計	1,269	14,102		9,724		119	25,214

(注1) 教員等研修のうち長期研修・派遣研修・eラーニング単独研修を除く。

(注2) 「その他」は、保育所長、保育士等。

3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為等

ウ 日時

月～金曜日 午前9時～午後5時

平成 25 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

内容別	面接相談（相談来所者総数）（人）					電話相談（回）				
	小学生	中学生	高校生	その他	合計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神	11	7	206	0	224	20	6	78	5	109
学業	89	0	11	0	100	15	5	5	1	26
不登校	69	133	388	1	591	28	93	283	9	413
いじめ	0	5	0	0	5	14	14	5	1	34
いじめ関連	(1)	(0)	(38)	(0)	(39)	(10)	(4)	(8)	(2)	(24)
非行等	0	6	45	0	51	3	10	30	0	43
性格等	0	2	37	0	39	4	8	18	0	30
進路・敵性	0	3	117	39	159	7	20	45	6	78
家庭教育	137	17	65	1	220	86	62	70	7	225
その他	7	0	10	0	17	148	85	87	69	389
合計	313	173	879	41	1,406	325	303	621	98	1,347

※いじめ関連は他の区分に入る相談でのいじめに関連するものであり、合計の内数として示す。

(2) 特別支援教育相談

ア 対象

特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

家庭でのしつけや育て方、就学や進路の問題、幼稚園や学校等での指導方法等

ウ 日時

月～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

平成 25 年度相談実施状況は、次のとおりである。（単位：人）

内容別	対象別	就学前	小学生	中学生	高校生	小計	保護者	教職員等	合計
家庭養育		37	57	0	0	94	124	1	219
就学		115	0	0	0	115	165	6	286
指導・支援		23	266	63	16	368	667	60	1,095
障害の程度		1	10	12	0	23	38	7	68
進路・敵性		0	11	8	9	28	46	14	88
その他		4	9	1	0	14	21	0	35
合計		180	353	84	25	642	1,061	88	1,791

対象幼児児童生徒の障害別内訳

（単位：ケース）

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	言語障害	自閉症	その他	合計
5	5	67	25	0	10	518	335	965

(3) 教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上の様々な問題について、専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。職務上の悩み、家族や生活上の問題、メンタルヘルスに関する問題など、平成 25 年度中に合計 125 回の相談があった。

4 教育情報収集・提供事業

(1)教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、生徒指導データ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

(2)図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

ア 保有数

(26.3.31 現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
46,613 冊	64,945 冊	23,755 冊	25 種	3 種

イ 平成 25 年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
244 日	924 人	6,074 冊

(3)愛知県教育情報システム (AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

ア 主なデータベース

データベースの分野	主 な 内 容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

イ 利用方法

総合教育センターのホームページ (URL : <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>) 及び愛知エースネットのホームページ (URL : <http://www.aichi-c.ed.jp/>) から利用できる。

(4)愛知県教育情報通信ネットワーク (愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

ア 主なサービス内容

- (ア)公開用ホームページと内部用ホームページの開設
- (イ)電子メールの利用
- (ウ)愛知県教育情報システム (AIES) データの提供
- (エ)コンテンツの提供
- (オ)eラーニングの利用

イ 利用校等

(26.3.31 現在)

校種等	接 続 数	備 考
小学校	38 校	・FTTH 等 27 校 ・ADSL 等 5 校 ・ISDN 等 6 校
中学校	15 校	・FTTH 等 10 校 ・ADSL 等 2 校 ・ISDN 等 3 校
県立学校	175 校	・FTTH 等 144 校 ・ADSL 等 31 校
その他	4 機関	・FTTH 等 1 機関 ・ADSL 等 2 機関 ・ISDN 等 1 機関
合 計	232 機関	・FTTH 等 182 機関 ・ADSL 等 40 機関 ・ISDN 等 10 機関

5 平成 25 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

第 53 回愛知県総合教育センター研究発表会（平成 25 年 11 月 22 日 午後日程）

研究発表（6 部会）

部会番号	主 題
1	教師を育てる教師の育成と研修の在り方に関する研究（中間報告）
2	高等学校における道德教育の推進の在り方に関する研究（第 1 次報告）
3	児童生徒の情報モラルの指導法に関する研究
4	不登校・不登校傾向の児童生徒に対する教育支援の在り方に関する研究
5	特別支援学校（知的障害）における自立活動の充実に関する研究
6	高等学校理科における言語活動の充実に関する研究

(2) 主な刊行物

ア CD-ROM による研究刊行物

研究紀要 第 103 集

イ 研究紀要別冊

「平成 25 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(3) 要請訪問

県内の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあたる。
（上欄は件数、下欄は対象人数）

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 教育	その他	合計
幼 児					14							14
					55							55
児 童 生 徒		5					1		6	14		26
		519					20		2,200	7,526		10,265
教 員		77	2		69	1	14	3	10	11	7	194
		2,557	180		2,826	30	565	85	652	395	429	7,719
P T A							4		1	9		14
							130		500	740		1,370
一 般 (高 齢 者)										2		2
										80		80
一 般 (サークル)			1								1	2
			100								5	105
そ の 他					19		4					23
					471		110					581
合 計		82	3		102	1	23	3	17	36	8	275
		3,076	280		3,352	30	825	85	3,352	8,741	434	20,175

（各部の総計）

6 平成 25 年度生徒実習の概要

農業教育（農業教育共同実習所）

(1) 生徒実習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生）

ア 参加生徒

※（ ）は女子（内数）

区 分	農園系学科	農土林系学科	生活食科系学科	総合学科	計
参加学級数	17	7	8	2	34
参加生徒数	661 (354)	244 (57)	299 (242)	75 (48)	1,279 (701)
宿泊延べ 生徒数	1,981 (1,060)	726 (169)	596 (482)	150 (96)	3,453 (1,807)
日 程	3泊4日	3泊4日	2泊3日	2泊3日	
参加学科 ・ 系列数内訳	農業(3) 園芸(3) 農業園芸(2) 施設園芸(1) 生物工学(2) 動物科学(2) 生物生産(2) 園芸科学(2)	農業土木(1) 林業(1) 林産工芸(1) 森林環境(1) 環境デザイン(3)	生活科学(4) 食品科学(3) 人と自然(1)	アグリサイエンス(1) 環境デザイン(1)	

イ 実習内容

(ア) エンジン分解・組立実習

学科系	コース	実 習 内 容	実施学科・系列数	
			農園系	農土林系
農園系・ 農土林系	A	2機種 of 分解・組立 4 サイクルカブソリンエンジン 2 サイクルカブソリンエンジン	1	0
	B	2機種 of 分解・組立 男子：4 サイクルディーゼルエンジン及び 4 サイクルカブソリンエンジン 女子：4 サイクルカブソリンエンジン及び 2 サイクルカブソリンエンジン	16	7
生活食科系		4 サイクルカブソリンエンジンの分解・組立	8	
総合学科		アグリサイエンス系列：4 サイクルカブソリンの分解・組立 環境デザイン系列：4 サイクルエンジン(ディーゼル又はカブソリン)の分解・組立	2	

(イ) 運転実習

学科・系列	実 習 内 容	実施学科・系列数
農園系	トラクタ基本運転 3 コース・総合運転と下記の応用運転	
	トラクタ応用運転（けん引・ホイールローダ）	2
	トラクタ応用運転（けん引・フォークリフト）	1
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・ドラグショベル）	1
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・フォークリフト）	2
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・ホイールローダ）	3
	トラクタ応用運転（ホイールローダ・ドラグショベル）	5
	トラクタ応用運転（ホイールローダ・フォークリフト）	2
トラクタ応用運転（ドラグショベル・フォークリフト）	1	
農土林系	トラクタ基本運転 1 コースと下記の施工機械運転	
	ブルドーザ・ホイールローダ・ドラグショベル	3
	ブルドーザ・ドラグショベル・フォークリフト	2
	ホイールローダ・ドラグショベル・フォークリフト	2
生活食科系	トラクタ基本運転 3 コース	8
総合学科	アグリサイエンス系列はトラクタ基本運転 3 コース	1
	環境デザイン系列はトラクタ基本運転と施工機械運転 (ブルドーザ、ドラグショベル、ホイールローダ)	1

(2) 資格取得講習

(対象：県内高等学校の農業に関する学科・系列で学ぶ 3 年生の希望者) ※（ ）は女子（内数）

講 習 名	日 程	参加人数
小型車両系建設機械（3t 未満）運転業務講習	2 日（4 回）	47（13）
フォークリフト（1t 未満）運転業務講習	2 日（6 回）	24（4）
農業機械技術講習	1 日（2 回）	18（2）
大型特殊自動車運転技能講習	3 日（2 回）（自由練習 6 日）	10（1）
計		99（20）